



向陵 High School

〒031-0011 青森県八戸市田向三丁目2番6号 / 電話 0178-44-3866 / FAX 0178-43-9077
https://koryo-high-school.com / メール koryo@chibagakuen.ac.jp

文化祭

10月1日(土)、『雲外蒼天』のテーマのもと令和4年度文化祭が行われた。模擬店や保護者のステージ観覧はなしで1日開催となったが、1、2年生は初めての文化祭、3年生は最後の文化祭を楽しんだ。模擬店の代替として、PTAから全校生徒、教職員にお弁当が配られ、生徒たちは自分か頼んだお弁当をおいしそうに頬張っていた。保護者は、「アート」をテーマに制作した各クラス展示やチャレンジ講座作品、文化部の作品を見て回り、ゆっくりと校内を見学できた様子だった。コロナ禍での行事ということで、PTAも生徒もいろいろな制限のなかではあったが、無事に開催できたことは素直に嬉しい。



全校生徒と教員による投票で決まる各賞は以下の通りとなった。

- 【クラス展示】
 - 最優秀賞 3年2組
 - 優秀賞 2年2組
 - 教員賞 3年2組
- 【天下一舞踏会】
 - 最優秀賞 2年2組
 - 優秀賞 3年2組
 - 教員賞 2年1組
- 【女装コンテスト】
 - 最優秀賞 2年1組
 - 優秀賞 2年2組
 - 教員賞 1年2組

写真展入賞



10月9日(日)、第15回八戸公園四季写真展表彰式が行われ、入賞した写真部5名が参加した。今年も1年以内に撮影した写真に限らず、撮影年を問わない作品募集となった。部員全員がそろって撮影に行く回数も少なかったものの、各自で公園を訪れたりして作品を完成させた。今回、部員たちが撮影以上に苦労したのが写真のタイトル。写っているそのものがタイトルにならないよう各自が考え、一人3点応募した。生徒たちは、大きな賞状に笑みを見せ、それぞれの賞品が気になる様子で中身を想像しながら入賞の喜びを分かち合った。会場の八戸公園緑の相談所には所狭しと59名115点の写真が展示され、当日は、入賞者やその家族で賑わっていた。写真展は、11月13日(日)までの午前9時から午後4時まで(最終日は午後3時まで)行われている。※毎週月曜日は休館

《生徒感想》

- 【八戸市教育委員会 教育長賞】3年 蟹沢 愛花(第一中学校出身)

タイトル決めが時間がかかりました。今年は、公園に行く機会が少なかつたので少ない枚数から選ぶことになりましたが、賞をもらえて嬉しいです。写真展を開催して下さった方々に感謝します。
- 【青い森信用金庫賞】3年 上村 咲(三条中学校出身)

子供の頃の思い出の地である公園内の遊具を写真に収めました。タイトル通り、これからも八戸公園が「思い出の場所」であることは変わりません。今後またくさんの思い出を写真に残したいと思っています。
- 【株式会社エフエム青森賞】3年 八木実咲(北稜中学校出身)

桜と青空を撮りました。よくある被写体だと思いますが、雲の形が面白かったので、1枚に上手く収まるよう工夫して撮りました。これからも写真撮ってみたいです。
- 【ピクトリコ賞】2年 戸田 裕樹(下長中学校出身)

八戸公園のバラを撮りました。タイトルがなかなか思いつかず、ありふれたタイトルになってしまいました。先輩たちのように凝ったタイトルをつけるのと、来年は、まだ見ぬ八戸公園の魅力撮影したいです。
- 【三八五流通グループ賞】3年 馬場慈侑生(下長中学校出身)

一眼レフを買ってすぐに撮影した雪の日の写真を応募しました。自分でも気に入っています。高校生として応募するのはこれが最後になりましたが、大人になっても応募したいです。

羽仁もと子に学ぶ



10月13日(木)、学校設定教科人間学の授業の一環で3年生が羽仁もと子記念館を訪れた。当日は、『婦人之友』愛読者で八戸友の会の会員の方から館内を案内、説明していただいた。川守田龍吉君(3年・第一中学校出身)は、「もと子が創刊した『婦人之友』は、女性たちの楽しみの一つだったということを知りました。そして、生涯、男女が平等な世の中になるよう、行動してきたもと子のおかげで、今の社会が生まれたのだと思います」と感想を述べた。

選手権大会2次予選ベスト8進出



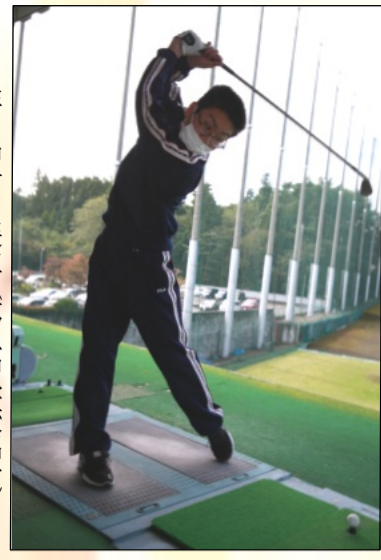
10月15日(土)、第101回全国高校サッカー選手権大会2次予選一回戦が行われた。相手は、昨年準々決勝で負けている弘前中央。試合が動いたのは、フアールで得たフリーキックからだ。佐々木聖丞君(1年・千葉市立千城台西中学校出身)の蹴ったボールを清富鯉生君(2年・世田谷区立船橋希望中学校出身)が押し込み先制した。その後、前半終了間際に2点目、後半さらに2点追加し、4対0で昨年の選手権の雪辱を晴らした。翌16日(日)、二回戦は、三農恵拓と対戦。延長戦までもつれたが0対0のまま決着がつかずPK戦となった。会場の全員がキッカーとキーパーを見つめる静けさの中、5人では決着がつかず、本校9人目、出川憐君(1年・白銀南中学校出身)も落ち着いてゴール右隅に決めた。最後は、本校守護神、中村俊太君(2年・第一中学校出身)がゴールを守り、厳しい戦いを制した。勝負が決まった瞬間、歓喜と感嘆の声に包まれた場内。嬉し涙と悔し涙を流している高校生たちの熱き戦いに、観客たちは大きな拍手をおくった。三回戦は、10月22日(土)、高森山総合運動公園球技場で13時半、キックオフ。八戸西高校との対戦。



▲相手の9人目PKをセーブした中村君に駆け寄るチームメイト(十和田市高森山総合運動公園球技場)

明日開催 ゴルフ・スポーツ講座

場所 前山ゴルフセンター



1年 中村 遥仁(第二中学校出身)
ゴルフは、手が痛くなり時々休憩することもありましたが、友達と最後まで楽しくやることができました。全身が疲れる感じがしました。初めてのゴルフでしたが、チームの人と上手くいく方法を考えながら楽しく集中してできて良かったです。

2年 赤坂 怜奈(市川中学校出身)
最初は難しかったですが、級友や講師の方にアドバイスをしてもらい、少しは上達したと思います。体中痛いですが、練習も楽しくできました。講師の方に「「チャー・シュー・メン」のリズムで打つと上手くいくよ」と言われ半信半疑でしたが、本当に上手くできて驚きました。遠くに飛ばしている人のプレーを見たり、アドバイスを参考にしたりと、難しいと思っていたゴルフの印象が変わりました。スタッフの方も優しく、楽しく活動できたので家族とも来てみたいです。

2年 清水 寛仁(第二中学校出身)
ゴルフは難しかったですが、講師の方が、優しく丁寧に教えて下さったので、楽しくできました。風が結構強かったですが、スポーツをしながらの風でしたので心地よく感じました。



ボウリングコース

場所 ゆりの木ボウル

2年 佐々木 俐玖(名川中学校出身)
ボウリングをやるのは初めてではありましたが、いざ投げてみるとすごく難しく感じました。一ゲーム目は、なかなか上手に行かず、真つすぐに投げられなかったこともあり、最終スコアを68で終えました。体験前の目標「100超え」を達成させるための考えは、集中すること、力任せに投げないこと、ドットに合わせることを意識することでした。すると、第二ゲームでは、ストライクやスペアを何回か取ることで、「100超え」を達成することができました。目標を達成し、楽しむこともできたのですが、右腕が筋肉痛



2年 坂田 香音(三沢第二中学校出身)
ボウリングは、家族とよく行っていましたが、点数の数え方や投げ方、ボウリング場の裏側など、あまり知らなかったののでいい経験になりました。裏側では、ピンがどのように回収され、新しいピンと変わっているのか、バーが上がり切っていないのに投げてしまうと壊れてしまうという説明も受けました。スポーツにおいてはもちろん、何でもルールを守って楽しむということの大切さを改めて学びました。



【2ゲーム合計順位】
男子 1位 2年 山口 大地(三戸中学校出身)
2位 3年 小笠原智也(市川中学校出身)
3位 3年 福島 空鳳(下長中学校出身)
女子 1位 2年 工藤 珠紀(下長中学校出身)
2位 3年 鈴木 篠(大館中学校出身)
3位 3年 蟹沢 愛花(第一中学校出身)

バッティングコース

場所 ベースボールスタジアム

1年 佐藤 翔聖(第二中学校出身)
バッティングは全くやったことがなくて、最初はバットに当たることができませんでした。バットを出すタイミングも難しく、空振りばかり。そこで、大きくバットを振るのでなく、当てる、ミートすることに集中して打つように心がけてみました。すると、少しずつ打てるようになり、さらに腰の回転も意識すると前に飛ぶようになりました。欲が出たホームランを狙いましたが、そこまで飛びませんでした。ホームランこそ出ませんが、初めてのバッティング挑戦は、友達と競い合いながら楽しい経験になりました。



2年 小笠原 陸(湊中学校出身)
バッティングをするにあたり、手の動かし方や肘の収縮、腰の動かし方を丁寧に先生に教えてもらいました。人によって打ち方はさまざまですが、気をつけるところは「片目だけで球を見ない、正面よりのところで構えること。両方の目で球の流れをつかみ正面から打つこと」です。自分でもこの言葉を意識して打つと、



球をとらえることができ、少し自信がつかまりました。しかし、マシーンとは毎回同じようには投げてくれませんが、しっかりと自分の目で球筋を見極めることが大事だと思いました。
3年 安部 秀麻(大館中学校出身)
ひたすらボールを打ちました。以前もやったことがあるので、これまで経験して得た上手く打つコツを意識して打つようにしました。前回よりは上手くやれたと思います。怪我なく活動できました。

ボルダリングコース

場所 2ND WALL Y 八戸

1年 山田 梅禾(明治中学校出身)
最初は、できないと思っていましたが、少しやってみると楽しくなりました。難しいところも見本を見たり、ボルダリング経験のある先輩からアドバイスをもらい何度かやると成功できました。初心者や二回目の人は、腕が曲がって力が入りすぎるのですが、先輩は腕が伸びていて、ゆったりと壁を登っている感じでした。また、男女の体格差もあり、男子が手が届くところに自分は届かず苦戦しました。最後にやったゲームが面白かったです。横移動をしながら、相手とじゃんけんし、負けたら相手に道を譲っていき、うものうものは、手足を掛ける部分が狭く自分の思い通りの場所を掴めないのが大変でしたが、先輩たちが盛り上げてくれたので楽しく活動できました。



2年 磯沼 煌羽(湊中学校出身)
ボルダリングは、AからZまでコースがあり、Aは皆クリアしました。一人ずつの挑戦で次のBは順番待ちがあったので、私はZに行きました。もちろんできるはずがないのですが、先輩が余裕でクリアしていました。先輩に刺激され、私もアルファベットより難しい斜面のオレンジに挑戦してクリアすることができました。1年生の女の子はZのクリア手前まで行き感激しました。私の友達にボルダリング世界1位の人がいるのですが、その子も今回体験した施設に来て、施設の人が練習を褒めていました。今日は先輩、後輩に感化され、スポーツを十分楽しむことができました。



トランポリンコース

場所 本校体育館



1年 菱事 弘季(階上中学校出身)
今回で二回目のトランポリンでした。基礎から挑戦し、抱え込み、開脚ジャンプ、腰落ち、腹落ちと難易度を上げていきました。体が硬すぎて開脚時は足が痛くなりました。一番怖かったのは腹落ちです。顔がトランポリンに近くなるので恐怖心が他の技とは違いました。意外にもトランポリンは爪先で跳ぶのは駄目で足裏全体で跳びます。今回初めて知ることがあったように、違うことにもチャレンジしてみたいし、またトランポリンを選んで、技をきわめてみたいです。

1年 成田 葉純(東中学校出身)
最初は、まっすぐ跳ぶことすらできませんでした。内臓が体の中で浮く感じがして、最後までできるのか不安になりましたが、少しして基本的なことではできるようになりました。しかし、どうしても腰落ちができませんでした。立っている状態から足を伸ばして座るイメージです。トランポリンとはいえ腰から落ちるのは怖かったです。少し練習すると、立った姿勢から腰落ちはできましたが、今度は腰落ちから立ち上がることができませんでした。同じように苦戦していた先輩がいて、「腰落ちするときに手で思いきりトランポリンを押しすとよい」と教えてもらい、最後にできました。楽しかったです。

